

北海道を伝えよう

「わたしたちの北海道は(和)」「が北海道の特徴だよ(洋)！」

ねらい

個々のイメージに気付き、異なる意見を交換しながら集団のイメージを形成していくことで相互理解を図る。

「間違い」の無い設問で、個人の自由な意見を引き出す。

目的達成のためのグループ行動で連帯感を高める。

他地域・他国の方への紹介の目線を持つことで北海道民として郷土に対する興味関心を高めるとともに、異文化理解への素養を高める。

社会の規範に則った学習活動を展開し、生涯学習社会への基礎を養う。

グループ単位での支持表明により、協調性を養う。

学習の流れ

	内 容	留意点
導 入	<p>皆さんは北海道開拓の村をどのようなときに使おうと思いますか？今日は道外、国外からのお友達に北海道を紹介する時のポイントを皆さんで探してもらいます。</p> <p>まずは皆さんそれぞれの和(洋)のイメージを想像してください</p>	<p>予めグループ分け()</p>
学 習 活 動	<p>ルール説明後村内へ</p> <p>↓</p> <p>村内を自由に巡りながら、それぞれの和(洋)を探し、意見交換しながらグループの統一意見をまとめていく。</p> <p>グループ行動</p> <p>・行動決定 ←→ ・発見 発言 意見交換</p> <p>↓</p> <p>グループの統一「和(洋)」ポイントの決定</p>	<p>基本としてグループ行動</p> <p>全ての建物を回る必要は無く、グループで話し合い行き先を決定。</p>
ま と め	<p>グループ発表</p> <p>「和(洋)」ポイントの決定と NG ポイントの発表</p> <p>歴史的経緯を踏まえながら、それぞれのグループのポイントについて講評</p>	<p>集合時間の設定</p>

生徒を「和」と「洋」の二つに分け、さらに小グループ(5~7人程度)を形成する。

ルール

村内を巡り、それぞれが道外・国外からのお友達に紹介する最良のポイントを見つけ出す。グループで決定したポイントを全体の前でアピールし、それぞれの挙げたポイントの支持数で最も優れた紹介ポイントを決定する。

なお、NG ポイントを設定し、ゲーム性を高めるとともに活動に一定の規制を与えて、より深い思考がなされるように促す。他のグループと重複したポイントも NG。

(公開 NG ポイントは遊具と動植物。その他 3 ~ 5 の NG ポイントを設定)

- 1、それぞれ生徒個人の「和(洋)」のイメージを元に、グループの目指すイメージを決定する。
- 2、村内では必ずグループ単位で行動する。
- 3、それぞれ個人で挙げたポイント、グループで検討したポイントを書き残しておく。
- 4、重複した場合に備え複数の紹介ポイントを準備すること。
- 5、支持は各グループで他のグループ 2 つに定める。

賞罰の有無については、教育上の配慮等があると思うので学校側で有無、内容等を決定してください。